

**KEPNER-TREGOE**  
**Project Management Workshop**  
**プロジェクト マネジメント ワークショップ**



## プロジェクト マネジメント ワークショップ Project Management Workshop

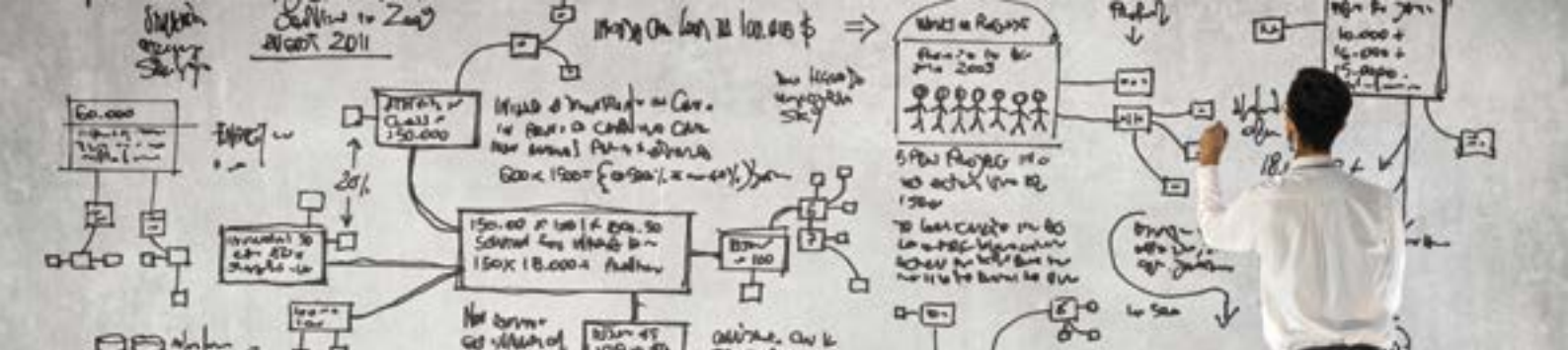
### プロジェクト・マネジメント・ワークショップ (PMW) とは

プロジェクトを組織して実施することが多い現在のビジネス環境。多くの企業ではプロジェクトが日常的な業務遂行の形態となっています。しかし、実際にはどの位のプロジェクトが成功したと言えるのでしょうか。ある調査会社が大手企業に実施したプロジェクトの実態に関する調査によれば、成功したプロジェクトは全体の2割程度で、途中で頓挫するか、目的を果たさずに終わるプロジェクトが8割も占めるという報告があります。プロジェクトを成功させるには、多くの困難を伴うことが数字の上からも実証されているのです。

プロジェクト失敗の原因には、「目標が不明確なまま、形式的にプロジェクトを始めてしまう」、「メンバーの経験が異なるために、プロジェクト管理に対する考え方が最後までかみ合わない」、「リスク管理が重要なのは分ってはいるが、実際にはできていなかった」など、マネジメント上の問題が多く指摘されています。だからこそ、標準となるプロジェクト・マネジメント・プロセスの導入とそれを運用するスキルが重要になってくるのです。

業績を上げている企業組織では、充実したプロジェクトの計画とその確実な実行によって利益を生みだしています。そのためには、的確なプロジェクト目標の設定と、効果的なプロジェクト・マネジメント・スキルが不可欠なのです。ケプナー・トリゴアのプロジェクト・マネジメント・プロセスは、実践的でシンプルなステップで構成され、プロジェクトの規模や複雑さなどにかかわらず適用でき、プロジェクトを成功へと導く強力なフレームワークとなります。

ご参加いただきたい方  
プロジェクト・マネジメント・ワークショップ (PMW) は、企業規模、業種、プロジェクトの内容や規模に関わりなく、プロジェクト・マネージャーやプロジェクト・メンバーとして活躍されているすべての方を対象に設計されています。ワークショップで提供されるプロセスは、プロジェクトに関わる全ての方が学習し、実務に適用できるものです。プロジェクト・マネジメントを初めて経験される方にとっても、すぐに活かすことができます。分かりやすい内容となっています。また、プロジェクト・マネジメントに精通したマネージャーの方にとっても実務上の落とし穴への気付きや日頃の業務の見直しに役立てていただけます。



## プロジェクト・マネジメント・プロセスのご紹介

ワークショップに参加すると次のことがマスターできます

### 定義フェーズ

プロジェクトで生み出す価値や目標を明確にする

#### 定義フェーズとは

スピード感を重視するあまり、プロジェクトの目標、成果物、実施する作業などを明確にせずに、ラフな計画に基づいていきなりプロジェクトを実行に移すことが多くの企業で見受けられます。この「定義フェーズ」では、プロジェクトの成功を確実にするため、まずプロジェクトの目的と目標、すなわちゴールを明確にするステップから開始します。そして、プロジェクトで達成すべき具体的な成果や成果物を明確にし、必要となる資源の特定と見積もりを行います。

#### このフェーズで学ぶこと

- プロジェクトの目的（期限、コスト、最終成果）の明確化
- 成功の評価基準となるべきプロジェクト目標の設定
- プロジェクトの主要な成果物とそれを生み出すために実施する作業を分割・階層化する手法（WBS）
- プロジェクトに投入する必要資源の特定と見積もり
- プロジェクト・マネジャーの任命と役割

### 計画フェーズ

プロジェクト作業を組織化し、リスクへの対応を計画する

#### 計画フェーズとは

プロジェクト作業にリソースを割当て、作業の依存関係と実施日程を決定し、リソースを確保し、体系的なリスク・マネジメントを実施します。これにより、プロジェクトの目的、目標を達成するために必要となる“真の”計画が作成されます。

#### このフェーズで学ぶこと

- 各作業に担当者を割り当てるための業務分担マトリクス（RAM）の作成
- ネットワーク・ダイアグラムやガントチャートを活用したプロジェクト詳細計画の作成
- クリティカル・パスとプロジェクト完了に必要な時間の試算と調整方法
- プロジェクトに必要な資源確保のポイント
- プロジェクト実施において想定されるリスクに対する対応
- プロジェクト実施の意思決定

- プロジェクト・マネジメント・プロセスの理解
- プロジェクト目的の明確化
- プロジェクトの達成目標の設定
- 成果物と作業内容の階層化（WBS）によるプロジェクトの内容の定義付け
- 必要な資源の特定と見積もり
- サブプロジェクトの設定
- プロジェクト・マネジャーの任命
- プロジェクト計画の作成
- 業務分担とスケジュールリング
- プロジェクト実行中のリスクのマネジメント
- プロジェクトのモニタリング、修正、評価方法

公開コースご案内

プロジェクト・マネジメント・ワークショップ（PMW）を実際に受講いただけるよう、公開コースを開催しています。詳しくは、弊社ウェブサイトをご参照ください。

[www.kepner-tregoe.co.jp](http://www.kepner-tregoe.co.jp)

## 実施フェーズ

プロジェクトの実行に移り、進捗管理と変更管理、終了と最終評価を行う

### 実施フェーズとは

プロジェクトが計画に沿って進捗しているのかをモニタリングし、計画との乖離が発生した場合にはプロジェクト計画を修正しなければなりません。また、計画フェーズで想定した問題が現実が発生した場合は、計画されている発生時対策を速やかに実施し、被害を最小限にとどめるマネジメントが必要となります。このフェーズの最終ステップとしてプロジェクトの終了と評価を行い、プロジェクトの目標達成の度合いを評価し、得られた教訓を組織に伝達し、次期プロジェクトでの活用を促します。

### このフェーズで学ぶこと

- 計画に沿ったプロジェクトの進捗状況のモニタリング
- 計画修正が必要となった場合の手続きと注意点
- 将来的なリスクへの対応方法
- プロジェクト目標達成の度合いの評価
- プロジェクトから得られた教訓の記録、伝達、及び将来的活用

## プロジェクト・コミュニケーション

プロジェクト実施中のメンバーのパフォーマンス向上

### プロジェクト・コミュニケーションとは

プロジェクトを成功させるためには、プロジェクトに関わる全ての人々が目標に向けて着実に役割を果たすことが必要です。そのためには効果的なコミュニケーションは必要不可欠です。ここでは、プロジェクトの期間中、メンバーの動機づけを維持するためにマネジャーとしてどのように働きかけを行うのか、また、プロジェクト実施中に発生する利害対立や、関心事解決へのニーズなど、プロジェクト成功にとって欠かすことのできない効果的なコミュニケーションの方法について体系的に学習します。

### プロジェクト・コミュニケーションで学ぶこと

- 期待成果の明確化と正しいフィードバックの提供
- 各チームメンバーの行動改善に対する支援の方法
- 効果的な質問による情報収集
- 効果的なプロジェクト・ミーティングの実施

## プロジェクト・マネジメントの応用例

米国航空宇宙局（NASA）は製品の品質と納期に問題があったある納入業者に、プロジェクト・マネジメントの方法を見直すよう要請した。同社の550名あまりのプロジェクト・メンバー全員がケプナー・トリゴーのプロジェクト・マネジメント・ワークショップを受講し、実際にプロジェクトに適用したところ、品質と納期の問題は大きく改善を図ることができた。また、同社はこれを機に品質管理システムを向上させISO9000を取得した。さらに、コミュニケーションに起因する社内の人的摩擦も減少した。

### 研修後のサポート

ケプナー・トリゴーのインストラクターは、研修後のフォローアップとして学習したスキルの応用を実施するお手伝いをしております。ご質問がございましたら、ケプナー・トリゴーまでご遠慮なくお問い合わせください。



## 会社案内

### ご支援領域

合理的思考技術（KT法）を用いた**コンサルティング**と**トレーニング（研修）**でクライアント企業の戦略実現のサポートをさせていただきます。



**コンサルティング**  
戦略策定とその展開支援  
業務改革とその定着化支援  
意識改革・行動変革支援



**トレーニング（研修）**  
問題解決&意思決定（KT法）  
プロジェクトマネジメント（PMW）  
トラブル問題解決（ATS）

### 会社概要

#### 本社

名称：Kepner-Tregoe Inc.

所在地：Princeton, New Jersey, USA

設立：1958年

設立者：Dr.Charles H.Kepner & Dr.Benjamin B.Tregoe

#### 日本法人

名称：Kepner-Tregoe Japan,LLC.

所在地：東京都港区元赤坂1-7-18ニッセイ元赤坂ビル5階

設立：1973年

TEL：03-3401-9521

www.kepner-tregoe.co.jp

### 世界の拠点

米国・オーストラリア・カナダ・フランス・ドイツ・香港・アイルランド・日本・マレーシア・オランダ・シンガポール・イギリス

### プログラム主要導入企業（日本）

- ・旭硝子株式会社
  - ・河西工業株式会社
  - ・カルソニックカンセイ株式会社
  - ・キヤノン株式会社
  - ・麒麟株式会社
  - ・クラシエホールディングス(株)
  - ・神戸市役所
  - ・株式会社神戸製鋼所
  - ・コーニングジャパン株式会社
  - ・JFEスチール株式会社
  - ・ジョンソンコントロールズ株式会社
  - ・ソニー株式会社
  - ・第一三共ケミカルファーマ株式会社
  - ・日産自動車株式会社
  - ・日本電気株式会社
  - ・日本ヒューレット・パッカード(株)
  - ・日立化成株式会社
  - ・株式会社日立製作所
  - ・ファイザー株式会社
  - ・富士フイルム株式会社
  - ・本田技研工業株式会社
  - ・株式会社みずほ銀行
  - ・三井金属鉱業株式会社
  - ・三菱化学株式会社
  - ・株式会社リコー
- （敬称略 五十音順） 関連会社含む

プロジェクト・マネジメント・ワークショップ（PMW）以外のサービスについては、弊社ウェブサイトをご参照ください

www.kepner-tregoe.co.jp



Kepner Tregoe Japan,LLC.

〒107-0051

東京都港区元赤坂1-7-18

ニッセイ元赤坂ビル5階

TEL:03-3401-9521

FAX:03-3479-0745

[www.kepner-tregoe.co.jp](http://www.kepner-tregoe.co.jp)